

令和2年度実施事業における評価の特例基準表について

特例の項目等について

(1) 地域包括支援センター

【事業実施基準】

	項目	評価基準	評価結果の特例	判断内容等
事業 実 施 基 準	10	ランチ連絡会を隔月に1回以上開催している	開催実績・回数を 問わない	・開催計画や中止理由が記載された記録等により、開催予定であったことが確認できれば、「○」とする。
	12	居宅介護支援事業者連絡会議を隔月に1回以上開催支援している	支援実績・回数を 問わない	・開催中止連絡が記載された記録等により、支援する会議が開催されなかったことが確認できれば、「－」とする。
	14	相談実件数が圏域高齢者人口の3.0%以上	基準 3.0%の 60%以上 とする	・相談実件数が圏域高齢者人口の <u>1.8%以上</u> であれば「○」とする。
	15	相談延件数が圏域高齢者人口の8.0%以上	基準 8.0%の 60%以上 とする	・相談延件数が圏域高齢者人口の <u>4.8%以上</u> であれば「○」とする。
	20	区認知症施策を推進する会議に参画し、取組みに協力している	参画実績を 問わない	・開催中止連絡が記載された記録等により、参画する会議が開催されなかったことが確認できれば、「－」とする。
	21	地域の支援関係者をはじめ、広く市民に対し、認知症高齢者等支援のための講演会・研修会等を開催している	開催実績を 問わない	・開催計画や中止理由が記載された記録等により、開催予定であったことが確認できれば、「○」とする。
	24	地域住民や介護保険事業者等に対する高齢者虐待防止の講演会・研修会等を計画的、戦略的に開催している	開催実績を 問わない	・開催計画や中止理由が記載された記録等により、開催予定であったことが確認できれば、「○」とする。

【応用評価基準】

	項目	評価基準	評価結果の特例	判断内容等
応用 評価 基準	1	【地域づくりをめざした関係機関との連携】 在宅医療・介護連携支援コーディネーターと連携した活動(個別ケース支援、課題共有のための会議等)を実施している	開催実績・形態を <u>問わない</u>	・開催計画や中止理由が記載された記録等により、在宅医療・介護連携支援コーディネーターと課題に対する対応策を講じる予定であったことが確認できれば「◎」とする。 ・開催計画や中止理由が記載された記録等により、在宅医療・介護連携支援コーディネーターと地域ケア会議等を開催する予定であったことが確認できれば、「○」とする。
	2	【地域づくりをめざした関係機関との連携】 社会資源に係る地域の課題やニーズについて、生活支援コーディネーターと連携した活動(課題共有のための会議等)を実施している	開催実績・形態を <u>問わない</u>	・開催計画や中止理由が記載された記録等により、生活支援コーディネーターと課題に対する対応策を講じる予定であったことが確認できれば「◎」とする。 ・開催計画や中止理由が記載された記録等により、生活支援コーディネーターと地域ケア会議等の開催予定や協議体会議に参加予定であったことが確認できれば、「○」とする。
	3	【地域づくりをめざした関係機関との連携】 圏域地域包括支援センターとして、認知症強化型地域包括支援センターと連携した活動(個別ケース支援、課題共有のための会議等)を実施している	開催実績・形態を <u>問わない</u>	・開催計画や中止理由が記載された記録等により、圏域地域包括支援センターと課題に対する対応策について検討する予定であったことが確認できれば「◎」とする。 ・開催計画や中止理由が記載された記録等により、区の認知症施策推進会議に参加予定であったことが確認できれば、「○」とする。
	4	【自立支援型ケアマネジメント検討会議の運営】 地域ケア会議において、多職種と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じている	対象ケースがない場合は <u>評価対象としない</u>	・個別ケースの検討会議ができず、モニタリングやその後の変化等を確認する対象となるケースがない場合は「—」とする。 ・訪問等ができず、その後の変化等の確認や効果分析等ができなかった場合は「—」とする。
	5	【課題のまとめ】 自立支援型ケアマネジメント検討会議で検討した個別事例の積み重ねから、地域づくりに向け課題をまとめている	開催実績・形態を <u>問わない</u>	・開催計画や中止理由が記載された記録等により、外部講師を呼び開催する予定であったことが確認できれば、「◎」とする。 ・開催計画や中止理由が記載された記録等により、地域包括支援センター職員内で開催する予定であったことが確認できれば、「○」とする。 ・個別ケースの検討会議ができなかった場合は、「—」とする。

(2) 認知症強化型地域包括支援センター

	項目	評価基準	評価結果の特例	判断内容等
事業実施基準	1	区認知症施策推進会議を開催している	開催実績を <u>問わない</u>	・開催計画や中止理由が記載された記録等により、開催予定であったことが確認できれば、「○」とする。
	2	地域包括支援センター・ランチ・初期集中支援チームが開催する会議へ参加している	参加実績を <u>問わない</u>	・開催中止連絡が記載された記録等により、参加する会議が開催されなかったことが確認できれば、「－」とする。
	3	認知症高齢者等支援にかかる事例検討会を開催している	開催実績を <u>問わない</u>	・開催計画や中止理由が記載された記録等により、開催予定であったことが確認できれば、「○」とする。
	5	地域の取り組みの後方支援を行っている	支援実績を <u>問わない</u>	・取り組み中止連絡が記載された記録等により、支援する取り組みがなかったことが確認できれば、「－」とする。

(3) 総合相談窓口(ランチ)

	項目	評価基準	評価結果の特例	判断内容等
事業実施基準	7	地域ケア個別会議を開催している	開催実績・回数を <u>問わない</u>	・開催計画や中止理由が記載された記録等により、開催予定であったことが確認できれば、「○」とする。
	8	ランチ連絡会に参加している	参加実績・回数を <u>問わない</u>	・開催中止連絡が記載された記録等により、参加する会議が開催されなかったことが確認できれば、「－」とする。
	9	地域ケア個別会議を開催するにあたり事前に開催目的を検討し、目的に沿って地域関係者の参加を呼びかけている	開催実績を <u>問わない</u>	・開催計画や中止理由が記載された記録等により、開催予定であったことが確認できれば、「○」とする。
	10	地域包括支援センターと協働して、地域ケア個別会議から見えてきた課題をまとめている	開催実績を <u>問わない</u>	・開催計画や中止理由が記載された記録等により、開催予定であったことが確認できれば、「○」とする。
	11	総合相談実件数が 120 人以上	基準 120 人の <u>60%以上</u> とする	・相談実件数が <u>72 人以上</u> であれば「○」とする。
	12	総合相談延件数が 600 人以上	基準 600 人の <u>60%以上</u> とする	・相談延件数が <u>360 人以上</u> であれば「○」とする。
	16	区認知症施策を推進する会議に参画し、取組みに協力している	参画実績を <u>問わない</u>	・開催中止連絡が記載された記録等により、参画する会議が開催されなかったことが確認できれば、「－」とする。